


クラス	103	担当教員	佐藤慎一
	テーマ	自らの学びをデザインする (1)	
	著書・論文 研究課題等	【著書・論文】 「学校間交流学習をはじめよう」 日本文教出版 2004 「学内 SNS の活用が学習動機に及ぼす影響」 教育工学会論文誌 2010 “PISION: A System to Visualize Blogs and Forums”, ED-MEDIA, 2011 「国際交流イベント推進のための Web 活用」 学習情報研究 2011 【研究課題】 教育学、特に、メディアを適切に活用した学習・教育のあり方を追求している。	

ゼミナール概要

キーワード：自己調整学習、ソーシャルラーニング、ポートフォリオ

大学ですべての学習が終了するわけではなく、働きながら、また、趣味やライフワークとしての活動等を通じて、学び続けていく。こうした学習は、中央教育審議会の答申によると、「自己の充実・啓発や生活の向上」のため、「自己に適した手段・方法」で行われるものである。どのような職に就くにせよ、よい学習者となることで、充実した生活を送ることのできる可能性が高くなるといえるだろう。よい学習者になるための特効薬は無いが、よりよく学ぶための知見は、先人たちの経験や研究から、一定の知見が積み重ねられている。本ゼミでは、こうした学習・教育に関する知見・方法論を学びつつ、自らそれを試行錯誤的に実践し、よりよい学習者になることを目指して、活動を進めていく。3年次につなげる基礎を築くべく、大きくは、ポートフォリオ作成、テーマ活動の2つを柱にして活動に取り組む。

■ ポートフォリオ作成

大学に入学後、これまで以上に自己管理が求められるようになり、また、大学内外で様々な経験も積む。こうした経験を自らの力に変換するためには、「振り返り」が重要であり、よりよく振り返るためには、「記録」も重要な要素となる。ポートフォリオとは、いわば、こうした自らの活動記録集である。WYM、国際フィールドワーク、さらに、各々が積んでいる経験を振り返り、今日的なメディアも活用しつつ、このポートフォリオの制作に取り組む。大学生生活の今後や、就職活動における自己PRに繋がる基礎の構築を目指す。

■ テーマ活動

総合演習を通じて、2年次にも様々な体験を積むべく、グループに分かれてのテーマ活動、調査・研究に取り組む。これら活動の成果は、プレゼンテーションをしてもらうのはもちろんのこと、レポート（論文に近いしっかりとしたレポート）としてもまとめてもらう。書いて提出しておしまいでなく、提出されたレポートを踏まえた議論や、教員や学生相互での添削を重ね、論理的な文章に高めていく。自信を持って、ポートフォリオの一部とできるような、プレゼン・レポートとすることを目指す。

これら活動に取り組むにあたり、結果（最終成果物の質）はもちろんのこと、プロセスについても重視する。協働で行う学習を効果的に行うための理論・知見も踏まえ、ゼミメンバー同士での議論も行い、ソーシャルメディア等も試行的に活用しながら、効果的なプロセスの共有を試行していく。試行錯誤も含め、あらゆる形で密なコミュニケーションを取りながら活動を進める。

担当教員からのメッセージ

生涯学習の時代、自分なりの効果的な「学び方」を獲得しておくことは、楽しく充実した生活を送るために重要なことでしょう。自分の経験を大切に、さらに、先人たちの知恵（先行研究による理論や知見）にも触れながら、よい学習者になるための基礎を築いていきましょう。すべてがうまく順調に進むことなどということは稀なため、うまくいかないと思ったり悩んだりすることもあるでしょうが、自分を信じ、脳みそをフル回転させ、粘り強く、協働して活動していきたいと思えます。